

出前講座「磐井川砂防探検」を開催しました

○開催日時：平成27年6月19日（金）、23日（火）

○実施場所：市野々原被災地展望広場、祭時被災地展望の丘、祭時大橋見学通路、北上川学習交流館「あいぼーと」

○参加校：一関市立 滝沢小学校、舞川小学校、巖美小学校、

平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震から7年がたちました。また、6月は梅雨やこれからの台風シーズンに備え、土砂災害についての理解と関心を深めるため、防災知識の普及啓発を目的とする「土砂災害防止月間」とされております。

岩手河川国道事務所・岩手県・一関市は、次世代を担う小学4～5年生を対象とした防災教育の一環として、出前講座「磐井川砂防探検」を開催（今年で6回目）しました。当日は磐井川で河道閉塞（天然ダム）が発生した箇所「市野々原被災地展望広場」や災害遺構「祭時大橋」を見学したあと、北上川学習交流館「あいぼーと」で施設内の集中管理センターやXバンドMPレーダー、そして現在開催中の「ゲリラ豪雨展」を見学して、災害対策等について学習しました。

参加した児童からは「天然ダムは今も川の水で削られているのか」「壊れた祭時大橋はなぜ残したのか」「壊れた祭時大橋はなぜ直さないで、違う所に新しい橋を作ったのか」など沢山の質問があり、児童は熱心に勉強していました。

今回の出前講座をとおして、児童は7年前に発生した岩手・宮城内陸地震の被害の様子や自ら災害に備えて行動することについて、学習したようでした。



「市野々原被災地展望広場」で河道閉塞箇所を見学



落橋した「祭時大橋」と、昨年度完成した「槻木平砂防堰堤」を眺める



メモを取りながら熱心に勉強していました



落橋した祭時大橋を目の前で見学



全員で記念撮影



あいぽーとにある「XバンドMPレーダー」



あいぽーとにある「集中管理センター」



「ゲリラ豪雨展」で熱心に勉強する児童



今日は、沢山教えて頂きありがとうございました